

八王子市市民活動支援センター

平成22年度事業計画

八王子市市民活動支援センター
センター長 春田 博

1. 支援センター事業方針

支援センターは、平成22年度に指定管理者としての最終年度を迎えます。お陰さまで、市民、市民団体、行政等の関係者の支援協力を得て、「市民のための市民センター」として利用され「市民満足度調査」の結果、外部評価の「モニタリング」評価や他市視察見学者においても高い評価と支持を頂いています。新年度は次期契約更改のため、公募要件の整備構築を目指して、運営と組織基盤の一層の強化に努めます。

2. 重点取り組み課題

1. 「ゆめおりファンド」事業の運営
 - 21年度の準備期間を経て、新年度より支援センターの事業として位置づけされた。
経営資源（備品提供システム・物の支援）の潜在的提供者である企業、団体、大学、市民等を対象に、積極的に開拓するため専任担当者を配属し、NPO法人八王子市民活動協議会の協力を得て組織的に対応します。
 - 物品等の経営資源の支援を受けるため、提供先であるNPO法人や市民団体側の情報を開示して信用を得るために、日本財団の公益コミュニティサイト「CANPANシステム」を活用します。
運営とあわせて地域資源の循環がスムーズに進められるような場やネットワークづくりを検討します。
 - この事業を通して新たなネットワークづくりの戦略手段として有効活用致します。
2. 市民活動団体の情報のデータベース化を構築します。
 - 支援センターに集まる市民活動に関する様々な情報は、今後、市民活動団体への活動支援や事業を展開する際には極めて重要な情報資源な

になります。過去に収集した市民活動団体の活動状況やお知らせ、募集案内などの各種情報を今一度整理し、収集・提供するため、情報の一元化を図ります。

3. 企画運営会議

NPO法人八王子市市民活動協議会と八王子市市民活動市センターの事業運営施策等の協議や情報交換の場として4半期に1回開催致します。

4. 個人情報セキュリティ委員会

八王子市市民活動支援センター個人情報保護運用規程」にもとづき、委員会を開催し、スタッフの教育研修や組織管理体制の強化を図ります。

年に1回、監査人による監査指導を受け、指定管理者として信頼にたる「個人情報安全管理体制」を維持します。

5. 八王子市環境マネジメントシステム

年に1回、環境教育の研修会を開催して、環境推進責任者や環境推進員を中心に職場環境の保全と啓発に努めます。

6. 都立高等学校の「奉仕の授業」の支援

平成21年度で3年間に亘る「奉仕の授業支援制度」は終了しましたが、都立高等学校側から引続き支援要請があり、これからの市民活動の担い手である若年世代も視野に入れた、多様な市民団体との世代間の交流の場として、今までの実績を活かし支援してまいります。

7. 相談業務・コンサルティングの機能と人材育成

市民活動の個別の相談、市民団体の運営や事業の相談に応じるため、職場内OJT、社外研修、インターネット検索能力、窓口支援情報の整備等でスタッフの相談技術や情報処理能力の向上を図り、コンサルティング機能の発揮を可能にする体

制を整えていきます。

また、昨年より実施した外部専門家組織の協力を得た相談体制の整備に努めます。

8. 施設運用管理

- 施設環境の整備（掲示ボード、パンフレットラック、書籍、資料、O A等の閲覧コーナー）
- 顧客対応の向上。長年の懸案事項であった、活性化室の1ヶ月前予約実現等で、貸し会議室の有効利用や液晶テレビの設置等のもとに、より多くの市民が利用できるよう、集まりやすい施設空間づくりを目指します。

9. 八王子市内の仮称「NPO法人交流会」への協力支援

八王子市内のNPO法人が200団体を超えた機会に、NPO法人八王子市民活動協議会が主催する、市内のNPO法人が一同に会した仮称「八王子市・NPO法人交流大会」に積極的に協力を致します。

10. 広報活動

1. 広報紙「市民活動通信」の発行
 - 市民センターの広報紙「市民活動通信」は市民活動の情報提供の媒体紙として、市民や市民活動団体に役に立つ紙面づくりに努めます。発行は前年同様、年6回、毎回奇数月の1日発行、発行部数毎回5,000部。この事業を通して新たなネットワークづくりの戦略手段として有効活用致します。今年「ゆめおりファンド」の特集記事や町会自治会との連携を保ち関連記事の掲載に努めます。また年度毎のPR冊子（事業紹介）やパワーポイント改訂版を作成します。そのほか、タウン情報誌等との連携を蜜にして、記事情報の提供や情報交換を行います。

2. メールマガジン（（支援センター便り）の発信
 - 登録会員（3月末現在180件）向けに電子媒体として毎月発信いたします。

掲載内容はアクティブ市民塾、市民活動入門講座、市民活動支援講座、協議会のイベント情報、助成金情報等を中心に情報を提供いたします。登録会員250名を目指します。
3. ホームページの運営管理
 - ホームページは昨年「ゆめおりファンド」事業に対応するため、リニューアルしました。

今年はトップページや内容面の見直し、改善を図りながら、支援センターの施設と事業内容、スタッフ日記や団体訪問取材などの情報、市民活動や市民活動団体に関する各種情報をリアルタイムに提供致します。

11. 情報開発と維持管理

支援センターにこれまで集められた既存データベースである、センター利用登録団体数約180団体、グリーンファイル収録約400団体、「お父さんお帰りなさいパーティー」冊子収録約130団体の統合データベース化を推進し、加えて新規、更新作業が実施できる仕組みづくりに取り組みます。

また、みんなのデータベース「リンク集」（市内のNPO法人、社会福祉法人、各種団体、諸施設、学校等）の開設準備を進めます。

12. 啓発活動

- 市民団体の紹介と市民との交流の場である「アクティブ市民塾」は前年同様、毎月1回、第3土曜日を中心に開催します。
- 「市民活動入門講座」は、年1回、5月度に新しい市民事業として期待されている「コミュニティビジネス」をテーマに、この道の第一人者を講師に招き開催します。

終了後、参加者の交流の場を設営致します。

- 「市民活動支援講座」は、市民団体からの要望が多い団体職員を対象とした、実務講座を計画しています。
講座の内容はNPO法人の会計、チラシづくり、HP、スライドP o w e r P o i n t のつくり方等、必要に応じて有料や数回のシリーズを考えています。
- 啓発活動の広報手段として、昨年同様に八王子テレメディアやタウン情報誌（11誌）との連携や参加者の囲い込み（リピーター化）を引き続き進めます。

13. 総務・相談

毎月の支援センター会議、個人情報セキュリティ委員会、八王子市環境マネジメントシステムの研修会等の開催、調査研究事業、相談事業、施設管理等の効果的運用や行政中間支援組織、他市支援センターとの連携協力を努めます。

14. 平成22年度 調査研究事業

22年度も利用実態や利用者のニーズを把握し、運営や施設管理に反映するため「市民満足度調査」を実施致します。

平成22年4月1日

以上